



1972（昭和47）年にアルミ電解コンデンサ用タブ端子溶接機の開発からスタートして以来、「異種金属溶接」、「高速搬送」、「精密位置決め」のコア技術をはじめとしたさまざまな要素技術により、電子部品、半導体、2次電池、医療品などのオーダーメイド生産装置を短期間で開発し、納品出来る、世界に通用する装置メーカーに成長を遂げた。

世界は今、クラウドサービスや仮想空間（メタバース）といったデジタル社会が加速的に進化している。今後データ通信量は飛躍的に増大していくと考えられている。近未来のデジタル社会を支える企業として注目を浴びるハイメカ株式会社代表の横山千広氏に「これまで」と「これから」をお聞きした。

社長なので我慢しているけれども本音は今でも技術開発したい(笑)

私は、山形大学の夜学短大に通っていました。夜学ですから、昼は仕事ができます。そこで当時大学にもっとも近かった「ハイメカ工機（ハイメカ株式会社の前身）」に勤めることにしたのです。1983（昭和58）年に大学を卒業して、私は日立米沢電子（現ルネサスエレクトロニクス米沢工場）に就職したのですが、業務提携をしていたこともあって、ハイメカ工機からオファーをいただき、1985（昭和60）年に転職することになったのです。学生時代に一番近くにあったという理由で勤めた会社に縁あって再就職したわけです。

以来 設計部門で装置設計を担当し2015（平成27）年、専務就任するまで技術部門で装置開発に携わり続け

来るべきデジタル社会を支える 美しき要素技術開発を追求する

ハイメカ株式会社 代表取締役社長 横山 千広

TSR DATA

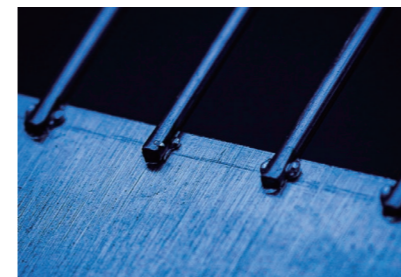
ハイメカ株式会社

山形県米沢市窪田町窪田2534番地6
TEL.0238-37-2905
FAX.0238-37-2904
https://www.hi-mecha.co.jp/

てきました。実は社長になった今でも装置の設計がしたいんですよ（笑）

お客様の視点に立った技術開発とお客様の期待に応える製品づくり

弊社はフルオーダーメイドの装置開発から製造、そして販売をしています。特に「タンタルコンデンサ製造装置」、「車載用Vチップコンデンサ製造装置」メーカーとしては、世界トップシェアを誇ります。50年間で約600モデルの装置を開発、世の中に送り出していますし、2017（平成29）年には、経済産業省から「地域未来牽引企業」に選ばれてもいます。



私たちの強みは、自社ブランドの製品を世界のユーザーに愛用していただくことによって経営が成り立っていることです。装置開発で蓄積した幅広い要素技術がありますので、新しい装置でも半年間という短期間で形に出来る能力を持ち合わせています。

さらに仕事をする度に新たな技術を蓄積する仕組みを社内で構築しておりますので、今後、装置に対するお客様の要望が高生産性・高精度・高機能とますますハードルが上がるとしても応え続けられると自負しております。

ハイメカは常に顧客満足度の向上をめざして魅力ある機械装置を開発し続けています。お客様の要望は、世界の最先端と受けとめて“目指すべきは最もシンプルな装置＝美しい装置”という我が社の開発コンセプトに基づき独自技術で応え続けた結果が今日のハイメカなのです。

私たちが目指しているものは「こころ」「身体」「経済」の調和

私は、会社を大きくすることだけを目標にいません。それよりも世の中の役に立つこと、社員が楽しく誇りを持って働くことを目指しています。

2015（平成27）年に“ひとりひとりの社員が主役・全社員に経営参加を促す経営システム”として京セラの稲森和夫氏が提唱する「アメーバ経営（小集団独立採算制度）」を参考にしながら当社の業務形態に合わせて取り組んでいます。その取り組みの結果、会社が大きくなるかもしれませんが、目指すところは、広く社会に貢献して社員の幸福を追求することです。



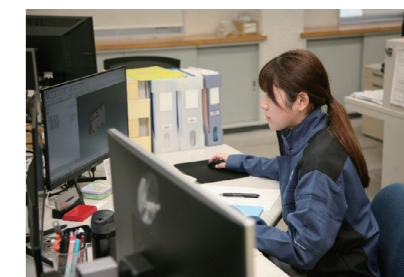
弊社は、技術を装置という形にして世の中に提供し、役に立つ仕事を生業としています。すでにハイメカは他社と差別化を図るために必須の技術（要素技術）を保有していますが、世の中の役に立ち続け、選ばれ続けるためには常に技術を磨き、新たな技術を重ねていかなければなりません。会社とは、社員が人間的に成長するための道場であり、利益はそのために必要ということから、ハイメカの業績目標は、単なる利益目標とはしないで時間当たり付加価値（アメーバ経営というところの時間当たり）で設定しています。導入して9年になりますが、導入時の時間当たりは倍増することができました。いささか語弊があるかもしれませんが、同じ仕事をして倍休めるということですね（笑）。

会社は、仕事を通じて生活の安定と豊かさづくりに努力するところでもあります。そのために「心」と「業績」、「環境」、「未来」の4つを創ることを私は経営方針に据えて、それらの調和を目指しています。

誰もが苦しい時期というはあるそこをどう超えていくかが大事だ

1991（平成3）年のバブル経済崩壊、2001（平成13）年のITバブルの崩壊、2008（平成20）年のリーマンショックそして2011年（平成23）年3月11日東日本大震災と弊社のみならず多くの企業が不況となる時期がありました。

難しい判断を強いられる中で弊社は人員削減をせず、新技術を盛り込んだ装置を開発することで不況期を脱することにしました。幸いにもその時に開発した装置により業績を伸ばすことができました。



自分の好きを追いかけていくこと 一人生の先輩としてのアドバイス

はじめに話したように、私は大学の近くにあったという理由だけで会社に入りました。思い返しても、とにかく楽しく仕事ができることだけを考えてきたような気がします。

私は、技術の持つ美しさ＝機能美が大好きです。私ができるアドバイスは自分の好きなことに没頭できる環境を求めて欲しい。そして、そこは皆さんにとって明るくて、楽しい場所になるはずだと思います。



ハイメカ株式会社

代表取締役社長 横山千広

1961年11月3日・山形県西置賜郡飯豊町生まれ
さそり座・A型
趣味 | 食べ歩き、ジムでサウナ
好きな有名人 | トムクルーズ、織田信長
好きな食べ物 | 寿司、基本的に嫌いなものがない
愛読書 | 落合信彦、楡岡平
座右の銘 | 明るく・楽しく・美しく